

## 2月度研究交流例会開催の件

2月度研究交流例会を下記の要領により開催いたしますので是非ご参加ください。

今回、前半では東日本大震災により中止となりました研究交流例会にご登壇いただく予定でした須田敏子先生（青山学院大学

大学院教授）にご報告をいただきます。また後半では報告者の河野哲也先生（立教大学教授）によるテーマ解説と問題提議の後、

ディスカッションを行います。幅広い意見交換を通して問題意識を共有できればと存じます。

### 記

1) 日 時 平成 24 (2012) 年 2 月 25 日 (土) 午後 14 時より午後 17 時

2) 場 所 経営倫理実践研究センター セミナー室 (地図参照→)

3) テーマおよび報告者

①14 時 00 分～15 時 20 分：「組織内フィールド内外の人事制度の変化分析」

(質疑応答 20 分含む) 須田 敏子 先生 (当学会 会員・青山学院大学大学院 教授)

②15 時 30 分～16 時 50 分：「マタニティ・ハラスメントを真剣に考える」

(ディスカッション 60 分程度) 河野 哲也 先生 (当学会 会員・立教大学 教授)

### 報告概要

\*テーマ①：組織内フィールド内外の人事制度の変化分析

制度社会学・VOCアプローチなど各種制度理論の枠組みを用いて、組織フィールドとして、国レベルでは日本を対象とし、

産業セクターレベルでは大手新薬メーカーと大手証券会社という2つのセクターを対象に、ケーススタディに基づき人事制度の

変化・収斂化を分析する。


\*テーマ②：マタニティ・ハラスメントを真剣に考える

経済分野での男女格差を助長するひとつの原因として女性の身体性の軽視、とくに妊娠期の労働に関する根深い認識不足と

ハラスメントと呼ぶべき不当な扱いが存在する。杉浦浩美氏によるこの分野の優れた研究と東京都福祉協議会の「マタニティ・

ハラスメント防止規定」を報告する。

4) 参加費 正会員：2,000 円 学生：1,000 円 (当日、例会会場にて申し受けます)

5) その他 ご出欠の確認を致したく、参加申込用紙 (Fax フォーム→) に必要事項をご記入の上

2月21日(火)迄に Fax または [E-mail](#) にてご返信ください。

以上